

平成 24 年度(第 28 回)名古屋工業大学技術報告会の参加報告

三重大学 工学部・工学研究科 技術部

新美 治利

niimi@arch.mie-u.ac.jp

1. はじめに

平成 24 年 09 月 14 日(金)に、名古屋工業大学講堂 2 階会議室において、平成 24 年度(第 28 回)名古屋工業大学技術報告会が開催されそこに参加し、発表を行ったので報告を行う。

2. 報告会の内容

技術報告会は、午前09時から始まり、最初に技術部次長の挨拶があり、続いて名古屋工業大学の理事・副学長の基調講演があった。その後、以下の13件の技術報告と1件の特別講演と1件の出張報告の発表が行われた。技術報告の発表は、他大学から三重大学も含め静岡大学、岐阜大学の計4件、特別講演を鳥取大学から発表があった。私も「建築学科図書検索システムの再構築」という内容で発表を行った。

・基調講演

- (1) 技術職員の品格とプロ意識

・技術報告

- (1) NC旋盤プログラム説明、作製、加工
- (2) 大型設備基盤センター低温室寒剤供給業務概要
- (3) 高Cr含有フェライト系ステンレス鋼SUS447の時効による組織変化に及ぼす繰返し応力負荷の影響
- (4) NCシミュレーションソフト「ベリカット」の使用状況報告
- (5) 簡易型静電容量式水位計の試作
- (6) 偏光顕微鏡観察-オルソスコープ観察
- (7) MALDI-MSの紹介
- (8) 物質によるβ線の吸収-物理実験「放射線」の紹介-
- (9) 授業評価アンケートシステムの構築
- (10) 建築学科図書検索システムの再構築
- (11) 電子ワークフローと他システムの連携
- (12) 温度ジャンプ型ホットステージ製作と改良
- (13) PIV用光源制御装置の製作

・特別講演

- (1) 鳥取大学技術部一元化の過程と現状

・出張報告

- (1) 被災地における理科支援事業～全国大学技術組織連携による「出前おもしろ実験室」プロジェクト～実施報告

3. まとめ

本技術報告会に参加・発表を行い、名古屋工業大学の技術職員の技術支援活動などを知ることができ、また技術情報も得ることができ有意義な報告会の参加となった。